BIHOKU SHINKIN BANK REPORT SEP.2018

備北信用金庫ディスクロージャー誌（2018年９月）

豊かな明日へのおてつだい
備北信用金庫

ご あ い さ つ

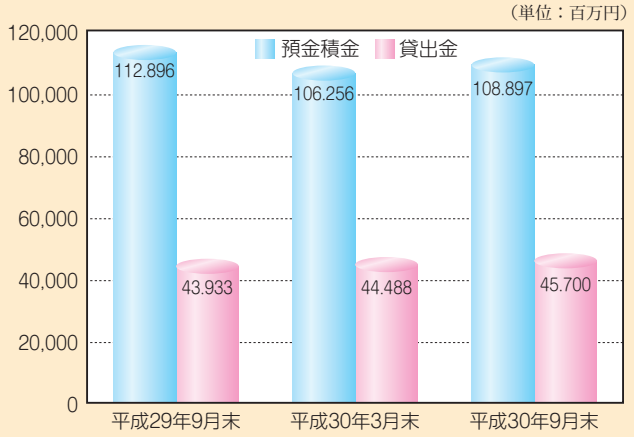
平素より備北信用金庫をご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。

この度、みなさまに備北信用金庫をよりご理解いただくために「2018年９月期 ディスクロージャー誌 BIHOKUSHINKIN BANK REPORT」を作成いたしましたのでご高覧ください。

備北信用金庫は地域のみなさまとともに歩み、みなさまに信頼される金融機関を目指して参りますので、今後ともより一層のご愛顧とご支援を賜りますようお願い申し上げます。　　理事長　柴倉　清

預金・貸出金の残高推移

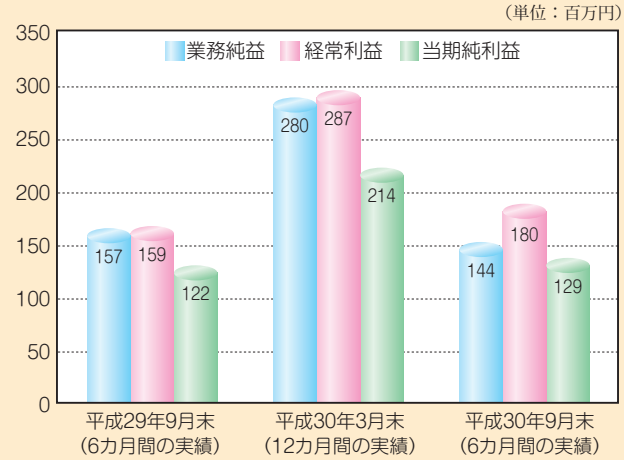
（単位：百万円）



預金は退職金やボーナス預金の獲得に努めるとともに、年金受取口座の獲得にも注力しました。一方、少子高齢化に伴う相続などによる預金流出もありましたが、昨年９月に新見市金庫の当番が交代となり公金預金が減少し、全体では９月末対比で3,999百万円減少となりました。貸出金は地域の皆さまのニーズに積極的に対応し住宅ローンや個人ローンへの取組みを行いました。太陽光発電事業向け融資や7月の西日本豪雨災害に対する融資需要の高まりにより、半期で1,212百万増加しました。

収益の推移

（単位：百万円）



依然としてマイナス金利政策により、厳しい経営環境下にありますが、収益の確保のため貸出金の増強を行うとともに預かり資産の増強に努めました。また、余裕資金は安全な運用を心掛け、さらに厳格な償却・引当を実施した結果、純利益（半期）129百万円を計上することができました。

※業務純益……金融機関の本来業務に係る利益を示しています。
※経常利益……業務純益に業務外の損益を加減し、経常的な営業活動の成果を示しています。
※当期純利益…経常利益に特別利益と特別損失を加減し、法人税等を控除した最終利益です。

有価証券の状況

その他有価証券で、時価のあるもの　（単位：百万円）

	平成30年3月末残高				平成30年9月末残高			
	貸借対照表計上額	評価差額	うち益	うち損	貸借対照表計上額	評価差額	うち益	うち損
その他有価証券	14,718	826	925	99	15,139	719	860	140
株　式	759	663	664	1	762	663	665	1
債　券	13,353	235	255	19	13,737	123	190	66
その他	605	▲72	5	77	640	▲68	4	72

満期保有目的の債券で時価のあるもの　（単位：百万円）

	平成30年3月末残高				平成30年9月末残高			
	貸借対照表計上額	含み損益	うち益	うち損	貸借対照表計上額	含み損益	うち益	うち損
満期保有目的債券	13,198	673	687	13	13,549	517	568	50

時価のない有価証券の内容と貸借対照表計上額　（単位：百万円）

内　容	平成30年3月末	平成30年9月末
	貸借対照表計上額	貸借対照表計上額
その他有価証券非上場株式	127	127
その他有価証券組合出資金	4	3

信金中央金庫から講師をお招きし、「信託」についての研修を行いました。ご高齢の方の興味ある商品について皆様にご提供してまいります。

研修風景（30.9.19 本店）

金融再生法開示債権

（単位：百万円）

	平成29年9月末残高	平成30年3月末残高	平成30年9月末残高
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	563	419	389
危険債権	796	711	709
要管理債権	201	245	242
正常債権	42,731	43,433	44,791
合　計	44,293	44,809	46,133

注1.「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

注2.「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。

注3.「要管理債権」とは、「３カ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する債権です。

注4.「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権をいいます。

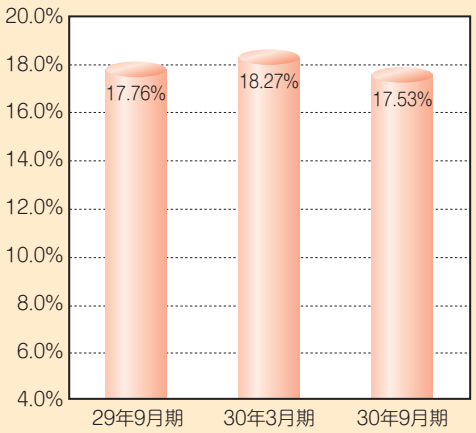
当金庫の自己資本比率について

（単位：百万円）

バーゼルⅢ国内基準			
項　　目	平成29年9月期	平成30年3月期	平成30年9月期
コア資本に係る基礎項目の額（イ）	8,858	8,940	9,034
出資金・資本剰余の額	330	330	330
利益剰余金の額	8,468	8,560	8,680
外部流出予定の額（△）	—	9	—
引当金等合計の額	58	59	22
コア資本に係る調整項目の額（ロ）	1	1	1
無形固定資産の額	1	1	1
自己資本の額｛（イ－ロ）｝（ハ）	8,857	8,939	9,032
信用リスクアセット合計の額（ニ）	47,260	46,368	48,983
オンバランス取引項目の額	47,001	46,142	48,646
オフバランス取引項目の額	258	225	337
オペレーショナル・リスク相当額を8%で除して得た額（ホ）	2,593	2,540	2,540
リスク・アセット合計額｛（ニ＋ホ）｝（ヘ）	49,853	48,908	51,523
自己資本比率｛（ハ）/（ヘ）｝	17.76%	18.27%	17.53%

自己資本比率 17.53%

我が国において、国内業務だけを行う金融機関の最低所要自己資本比率は4.0%（国内基準）であります。
当金庫の自己資本比率17.53%は、この基準を大きく上回り、業界内でも上位に位置し、経営の健全性、安全性を十分保っていると評価しています。



【バーゼルⅢについて】

新ＢＩＳ規制（バーゼルⅢ）とは、主要国の金融監督当局で構成するバーゼル銀行監督委員会が2010年9月に公表した、銀行の健全性を維持するための新たな自己資本規制で、2008年－2009年の世界的な金融危機を教訓に新たな枠組み（規制強化策）が策定されました。当金庫では、平成25年3月8日、自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準（平成18年金融庁告示第21号）」が改正され、平成26年3月31日から改正後の告示が適用されたことから、新ＢＩＳ規制（バーゼルⅢ）に基づく国内基準で自己資本比率を算出しています。

自己資本の充実度に関する事項

（単位：百万円）

	平成30年9月期	
	リスク・アセット	所要自己資本額※1
イ．信用リスクアセット・所要自己資本の額合計	48,983	1,959
①標準的手法が適用されるポートフォリオごとのエクスポージャー※2	48,983	1,959
現金	—	—
ソブリン向け※3	724	28
金融機関・第一種金融商品取引業者向け	10,741	429
法人等向け	18,227	729
中小企業・個人向け	6,741	269
抵当権付住宅ローン	1,078	43
不動産取得等事業向け	3,686	147
3カ月以上延滞等※4	222	8
取立未済手形	2	0
信用保証協会の保証付	381	15
株式会社地域経済活性化支援機構等による保証付	—	—
出資等	344	13
出資等のエクスポジャー	339	13
上記以外	10,561	422
信用金庫連合会の対象普通出資等でコア資本に係る調整項目の額に算入されなかったエクスポージャー	521	20
特定項目のうち調整項目額に算入されないエクスポージャー	402	16
②証券化エクスポージャー	—	—
③複数の資産を裏付とする資産（所謂ファンド）の内、個々の資産把握が困難な資産	—	—
④経過措置によりリスク・アセットの額に算入されるものの額	—	—
⑤他の金融機関等の対象資本調達手段に係る経過措置によりリスク・アセットの額に算入されなかったものの額	△ 3,728	△ 149
⑥ CVAリスク相当額を8%で除して得た額	—	—
⑦中央清算機関関連エクスポージャー	—	—
ロ．オペレーショナル・リスク※5	2,540	101
ハ．単体総所要自己資本額（イ＋ロ）※6	51,523	2,060

※1．所要自己資本の額＝リスク・アセット×４％

※2．「エクスポージャー」とは、資産（派生商品取引によるものを除く）並びにオフ・バランス取引及び派生商品取引の与信相当額です。

※3．「ソブリン」とは、中央政府、中央銀行、地方公共団体、我が国の政府関係機関、土地開発公社、地方住宅供給公社、地方道路公社、外国の中央政府以外の公共部門（当該国内においてソブリン扱いになっているもの）、国際開発銀行、国際決済銀行、国際通貨基金、欧州中央銀行、欧州共同体のことです。

※4．「３カ月以上延滞等」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から３カ月以上延滞している債務者に係るエクスポージャー及び「ソブリン向け」、「金融機関向け」、「法人等向け」においてリスク・ウェイトが150%になったエクスポージャーのことです。

※5．オペレーショナル・リスクは、当金庫は基礎的手法を採用しています。

＜オペレーショナル・リスク（基礎的手法）の算定方法＞

$$\frac{\text{粗利益（直近３年間のうち正の値の合計額）}\times 15\%}{\text{直近３年間のうち粗利益が正の値であった年数}} \div 8\%$$

※6．単体総所要自己資本額＝単体自己資本比率の分母の額×４％

ボランティア活動

「信用金庫の日」のボランティア活動 180号線沿い遊歩道清掃

30.6.9　本店営業部・下町支店・本部役職員が参加

「高梁障害者支援センター祭」での餅つき

30.11.3　「新生会」会員とともに金庫職員がボランティアに参加

一般貸倒引当金、個別貸倒引当金の増減及び貸出金償却額

（単位：百万円）

	平成30年9月期				
	期首残高（平成30年3月末）	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
一般貸倒引当金	56	19	—	56	19
個別貸倒引当金	347	342	—	347	342

※洗替えによる取崩額

（単位：百万円）

	平成30年9月期
貸出金償却額	—

信用リスク削減手法が適用されたエクスポージャー

（単位：百万円）

信用リスク削減手法 / ポートフォリオ	平成30年9月期	
	適格金融資産担保	保　証
信用リスク削減手法が適用されたエクスポージャー	779	3,793

（注）当金庫は、適格金融資産担保について簡便手法を用いています。

出資等エクスポージャーに関する事項

（単位：百万円）

	平成30年9月期	
	貸借対照表計上額※1	時　価
上場株式	871	871
非上場株式等	653	653

※1.　貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。
（注）投資信託等の裏付資産のうち出資等に該当するものは一括して上場株式に含めています。

信用リスクに関するエクスポージャー

（単位：百万円）

	平成30年9月期		
	信用リスクエクスポージャー期末残高		三月以上延滞エクスポージャー※2
	貸出金、オフ・バランス取引※1	債券	
残高	46,137	27,215	148

※1.　オフバランス取引はデリバティブ取引を除く。
※2.　「3ヶ月以上延滞エクスポージャー」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から3カ月以上延滞しているエクスポージャーのことです。

金利リスクに関する事項

（単位：百万円）

	平成30年9月期
銀行勘定の金利リスク※	1,608

※．銀行勘定における金利リスクは、金融機関の保有する資産・負債のうち、市場金利に影響を受けるもの（例えば、貸出金、有価証券、預金等）が、金利ショックにより発生するリスク量を見るものです。当金庫の計測手法はその他計算方式（有価証券ＧＰＳ方式、そのほかの資産負債は金利ラダー方式）、金利ショック幅は保有期間１年、観測期間５年分の金利変動データの１パーセンタイル値と99パーセンタイル値を使用し、銀行勘定の金利リスク量を算出しています。

・要求払預金の金利リスク量は、明確な金利改定間隔がなく、預金者の要求によって随時払い出される要求払預金のうち、引き出されることなく長期間金融機関に滞留する預金をコア預金と定義し、当金庫では、普通預金等流動性預金の額の50%相当額を０～５年の期間に均等に振り分けて（平均2.5年）リスク量を算定しています。

・銀行勘定の金利リスクは、運用勘定の金利リスク量と調達勘定の金利リスク量を相殺して算定します。

銀行勘定の金利リスク（1,608百万円）＝運用勘定の金利リスク量（1,888百万円）＋調達勘定の金利リスク量（△280百万円）

各種取扱商品のご案内!!

くわしくは窓口までお問合せください。

西日本豪雨で被災された事業者の方、ぜひご相談ください。

被災された個人の方、復興資金や住宅のリフォーム等、幅広くご利用いただけます。

住宅の新築、リフォーム等最長35年までの期間でご利用いただけます。

個人の方に期間中のご契約に限り特別金利適用となる定期預金です。

「びしん経営者クラブ」の会員募集のお知らせ

びしん経営者クラブは、地域の若手経営者の方や後継者の方を対象に、各種セミナーを開催しています。地域を活性化し、会社の発展を希望されている方はご一緒に勉強をしてみませんか。お気軽に店頭または得意先係にお尋ねください。

会員資格：満60歳までの方（年会費が必要です）

総会の様子（30.6.1）：高梁国際ホテルにて

経営セミナーの様子（30.10.3）

金融仲介機能の発揮の成果

⑴ 取引先企業の経営改善や成長力の強化

《当金庫がメイン金融機関として取引を行っている企業のうち、経営指標等の改善が見られた先数及び同先に対する融資額の推移。》

	30/3末
メイン先数	384先
メイン先の融資残高	119億円
経営指標等が改善した先数	140先

	30/3末	29/3末	28/3末
経営指標等が改善した先に係る3年間の事業年度末の融資残高の推移	45億円	46億円	43億円

※先数は単体ベース。　※経営指標は売上高増加率、就業者数を採用しております。

⑵ 取引先企業の抜本的事業再生等による生産性の向上

《当金庫が貸出条件の変更を行った先の経営改善計画の進捗状況》

(30/3末)	条件変更総数	好調先	順調先	不調先
中小企業の条件変更先に係る経営改善計画の進捗状況	139先	5先	6先	128先

※進捗を計測している指標：売上高、キャッシュフロー
※・好調先：120%超　・順調先：80%～120%　・不調先：80%未満　・経営改善計画のない企業は不調先に区分しております。

〈当金庫が関与した創業、第二創業の件数〉

	30/3月期
創業件数	12先

〈ライフステージ別の与信先数、及び、融資額〉

(30/3末)	全与信先	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
ライフステージ別の与信先数	631先	23先	17先	518先	34先	39先
ライフステージ別の与信先に係る事業年度末の融資残高	145億円	8億円	8億円	108億円	7億円	12億円

※対象：法人、個人事業主（当金庫が決算データを5期保有していない先（除く創業先）は含まれておりません。）
※ライフステージの区分
・創業期：創業、第二創業から5年まで　・成長期：売上高平均で直近2期が過去5期の120%超　・安定期：売上高平均で直近2期が過去5期の120%～80%
・低迷期：売上高平均で直近2期が過去5期の80%未満　・再生期：貸付条件の変更または延滞がある期間

⑶ 地域へのコミットメント・地域企業とのリレーション

〈当金庫がメイン金融機関として取引を行っている企業の割合〉

	30/3月期
メイン取引（融資残高1位）先数	384先
全取引先数に占める割合	60.9%

金融仲介機能の発揮に向けた各種取組みの進捗状況

⑴ 事業性評価に基づく融資等、担保保証に過度に依存しない融資

〈地元の中小企業与信先のうち、無担保与信先数、及び、無担保融資額の割合　30/3末〉

地元中小企業与信先数 ①	地元中小企業向け融資残高 ②	無担保融資先数 ③	無担保融資残高 ④	無担保融資先数割合 ③／①	無担保融資残高割合 ④／②
631先	14,558百万円	113先	2,805百万円	17.91%	19.27%

〈地元の中小企業与信先のうち、根抵当権を設定していない与信先の割合　30/3末〉

地元中小与信先数 ①	根抵当権未設定先数 ②	根抵当権未設定先数割合 ②／①
631先	434先	68.78%

〈経営者保証に関するガイドラインの活用先数、及び、地元の中小企業与信先に占める割合　30/3末〉

地元中小与信先数 ①	ガイドライン活用先数 ②	ガイドライン活用先数割合 ②／①
631先	8先	1.27%

〈地元の中小企業与信先数のうち、無保証のメイン取引先数の割合　30/3末〉

地元中小企業与信先数 ①	無保証メイン先数 ②	無保証メイン先数割合 ②／①
631先	6先	0.95%

〈中小企業向け融資のうち、信用保証協会保証付き融資額の割合及び100% 保証付き融資額　30/3末〉

中小向け融資残高 ①	保証協会付融資残高 ②	100%保証付融資残高 ③	保証協会付融資残高割合 ②／①	無担保融資残高割合 ③／①
14,558百万円	2,002百万円	779百万円	13.75%	5.35%

〈地元の中小企業与信先のうち、事業性評価に基づく与信先の割合　30/3末〉

地元中小企業与信先数 ①	地元中小企業向け融資残高 ②	事業性評価融資先数 ③	事業性評価融資残高 ④	事業性評価融資先数割合 ③／①	事業性評価融資残高割合 ④／②
631先	14,558百万円	57先	1,118百万円	9.03%	7.68%

⑵ 本業（企業価値の向上）支援・企業のライフステージに応じたソリューションの提供

〈本業（企業価値の向上）支援先数、ソリューション提案先数、メイン取引先のうちの経営改善提案を行っている先数　29年度計〉
〈販路開拓支援先数　29年度計〉

岡山県内における販路開拓支援	岡山県外での販路開拓支援
19先	1先

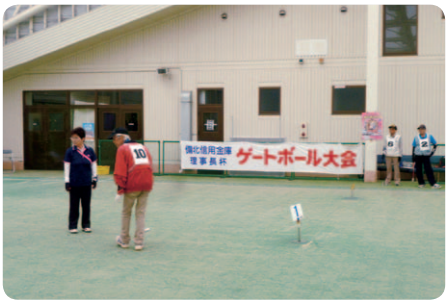
TOPICS トピックス

「にいみびしんむつみ会」親睦旅行を開催
(30.4.15 : なんばグランド花月にて)

高梁市小学生球技大会において毎年トロフィーと記念メダルを提供し協賛しています。
(30.5.20 : なりわ運動公園)

「信用金庫の日」ロビー展
(30.6.15 : 落合支店)

第72期通常総代会を開催し、平成30年３月期決算が承認されました。(30.6.18 : 本店)



理事長杯ゲートボール大会を開催しました。
(30.6.23 : 新見市正田・憩いとふれあいの公園)

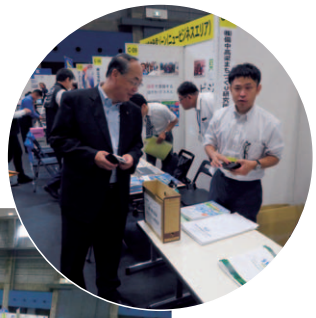
西日本豪雨に対する災害義援金の贈呈
(30.7.24 : 新見市役所、7.25 : 高梁市役所)

高梁市観光協会へ備中たかはし松山おどりの「うちわ」3,000本を寄贈しました。
(30.7.30 : 本店)

女子サッカーFC吉備国際大学シャルムの強化資金として高梁市へ助成金30万円を寄贈しました。(30.8.1 : 高梁市庁舎)

備中たかはし松山踊り当日は、浴衣で営業
(30.8.15 : 本店営業部)

「第14回しんきん合同ビジネス交流会」を開催いたしました。当金庫から18社のご参加を頂き、また吉備国際大学様も相談コーナーでご協力頂きました。



参加企業様のブースの様子（30.9.12 : コンベックス岡山）

びしん寿会日帰り旅行（30.11.13 : 大江の郷ヴィレッジにて）

お客さま本位の業務運営に関する取組方針について

備北信用金庫

備北信用金庫は、当金庫の経営方針・経営ビジョンに基づき、お客さまの資産形成・運用に関する業務において以下の取組方針を定め、お客さまのご要望にお応えできるよう、より良い金融商品・サービスの提供を行います。

また以下の取組方針については定期的に検証・見直しを行い、取組み状況を公表いたします。

1. お客さまの最善の利益の追求

お客さまの最善の利益を図るため、お客さまの立場に立ち、お客さまにとって最善の選択となるような商品・サービスを提供します。

- 商品の特性やリスクを精査し、お客さまのニーズやライフステージの変化にお応えできるよう、商品のラインナップを適時見直します。
- 長期的・安定的な要素を考慮し、お客さまにとって有益になるような商品提供を行います。

2. 利益相反の適切な管理

お客さまとの取引時の利益相反について、お客さまの利益を損なうことがないように十分に管理を行います。

- 当金庫の定める「利益相反管理方針」に従ってお客さまの利益が不当に損なわれることが無いようにします。
- 取扱商品の選定にあたっては、投資運用会社や保険会社等から広く情報を収集し、十分な検討を行います。

3. お客さまへ重要な情報のわかりやすい説明

お客さまの金融知識、投資経験、資産状況や運用目的をお聞きして、お客さまにとってふさわしい商品が選んで頂ける様情報提供を行います。

- ご提案に当たっては、わかりやすい用語表現を使用し、明確・平易な内容の説明を心掛けお客さまにもご理解頂ける様にします。
- 商品のご提供後は、アフターフォローを通じて資産の状況や市場動向、運用情報などを適時ご提供します。
- お客さまが負担する手数料やその他費用について、どのようなサービスの対価であるかを含め、その詳細についてお客さまが理解できるよう情報提供に努めます。

4. 従業員に対する適切な動機づけの枠組み等

お客さまの最善の利益を追求するため、金融業務に関し専門性が高い職員を育成し、信頼に応えることができる販売態勢を構築します。

- 研修等を通じ職員のスキルアップに努め、コンサルティング能力の向上を図ります。
- 適切にお客さま本位の業務運営を行うため、お客様からの声を真摯に受け止め、販売態勢に反映してまいります。

店舗一覧表

本店営業部	〒716-0037 高梁市正宗町1964番地の1	TEL.0866-22-2191	FAX.0866-22-0091
成羽支店	〒716-0111 高梁市成羽町下原963番地の2	TEL.0866-42-2644	FAX.0866-42-2646
下町支店	〒716-0022 高梁市下町23番地	TEL.0866-22-2376	FAX.0866-22-3797
賀陽支店	〒716-1122 加賀郡吉備中央町竹荘486番地の2	TEL.0866-54-1335	FAX.0866-54-1336
北房支店	〒716-1411 真庭市上水田2998番地の3	TEL.0866-52-3151	FAX.0866-52-3152
落合支店	〒716-0061 高梁市落合町阿部1282番地の3	TEL.0866-22-1500	FAX.0866-22-1526
新見営業部	〒718-0003 新見市高尾2482番地の1	TEL.0867-72-4411	FAX.0867-72-1895
中央支店	〒718-0011 新見市新見866番地の1	TEL.0867-72-2160	FAX.0867-72-7716
正田支店	〒718-0013 新見市正田257番地の11	TEL.0867-72-0724	FAX.0867-72-0471
大佐支店	〒719-3503 新見市大佐小阪部1501番地の2	TEL.0867-98-2878	FAX.0867-98-2877
本部	〒716-0037 高梁市正宗町1964番地の1	TEL.0866-22-2191	FAX.0866-22-7533
事務センター	〒716-0037 高梁市正宗町1967番地の7	TEL.0866-22-2192	FAX.0866-22-2791

豊かな明日へのおてつだい

備北信用金庫

登録金融機関　中国財務局長（登金）第43号

http：//www. shinkin. co. jp/bihoku/

〒716-0037 岡山県高梁市正宗町1964-1　TEL.0866-22-2191　FAX.0866-22-7533

この印刷は、水質保全に有効な水なし印刷方式を採用しています。

この印刷は、環境にやさしい植物油インキを使用しています。

この冊子には再生紙を使用しています。

2018年11月発行